

職員を対象とした「第2期千葉市障害者活躍推進プラン」を公表します！
～障害の有無に関わらず全ての職員が互いに尊重し、活躍できる職場環境の実現～

千葉市では、職員を対象とした「千葉市障害者活躍推進プラン」（障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく障害者活躍推進計画）が、令和6年度末に計画期間満了を迎えたことから、新たに「第2期千葉市障害者活躍推進プラン」を策定し、本日5月2日（金）に公表しますので、お知らせします。

1 趣旨・概要

障害のある職員一人一人が能力を最大限に発揮できる職場づくりや庁内における障害に対する理解の促進などを推進することにより、「障害の有無を問わず、誰もが安心して働くことができる環境の整備に取り組んでいく」ことを目的とし、各種取り組みを行っていく。

2 計画期間

令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）

3 計画対象

千葉市および千葉市各行政委員会等の全職員

4 本プランの主なポイント

（1）推進する体制の整備

障害者雇用関係課長会議の開催など、本プランの推進および点検や見通し等について議論を行う体制を整備する。

（2）障害の理解促進

全職員に対する研修の実施、庁内や国等における合理的配慮事例の横断的な共有により、全ての職員に対して障害への理解を促進する。

（3）職務の選定・適合

採用前の意向調査や管理職との定期面談の実施により、障害の特性に応じた職務の適合を図り、障害のある職員の活躍を目指す。

（4）職場環境の整備

職場環境についてハード・ソフトの両面から検証を行うとともに、テレワーク等の柔軟な働き方の推進により、障害のある職員が安心して働き続けられる環境を整備する。

（5）職員の採用・育成等

新たな雇用の場の創出やステップアップ制度を活用した採用等を研究し、障害のある職員の活躍の場の拡大を推進する。

5 本プランの目標

項目	目標	令和6年度の状況
障害者雇用の推進	毎年6月1日時点における実雇用率を、法定雇用率以上とする。	令和6年6月1日時点の市長部局(病院局を含む)の実雇用率 2.97%
定着率の向上	離職者を極力生じさせないようにする。	過去3年間に採用した職員の定着率 93.3%
管理職への登用	能力や経験に応じ、管理職への登用を行う。	管理職(課長補佐級以上)の人数 6人
満足度の向上	障害のある職員を対象としたアンケート項目「千葉市で働いていることに対する満足度」の回答のうち「満足」、「やや満足」の合計を80%以上にする。	千葉市で働いていることに対する満足度 72.8%

6 目標の達成に向けた新たな取り組み

(1) 障害者職業生活相談員による所属への巡回指導・相談対応

障害者職業生活相談員による、プッシュ型面談の実施を通じて的確な状況把握に努めるとともに、障害のある職員の職業生活全般について相談・指導を行う。

(2) 職場適応援助者(ジョブコーチ)の設置検討

円滑な職場適応を支援するジョブコーチの配置等を検討し、相談体制の充実や障害特性を踏まえた支援に取り組む。

(3) フロアサポートスタッフの拡充

フロアサポートスタッフ(障害のある職員3人と業務調整員1人で構成するチームで、フロア全体の事務補助として従事する会計年度任用職員)の配置場所を拡充し、雇用の場を創出する。



7 公表方法

市ホームページに掲載

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/somu/somu/jinji/shogaishakatsuyaku.html>